



国際ロータリー第2600地区  
**上田六文銭ロータリークラブ**  
 Rokumonsen Rotary Club

2016-17年度  
 国際ロータリー会長  
 ジョン F. ジャーム

第2600地区ガバナー 原 拓男

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1  
 上田東急REIホテル 3F  
 TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002  
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>  
 《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30  
 《例会場》上田東急REIホテル 2F  
 《創立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 松澤 一志 ●会報委員長 中澤 信敏 ●副委員長 鹿志村恭彦 ●委員 中沢利樹男/斉藤恵理子

例会日誌

司 会 中澤 信敏君  
 開会点鐘 西澤 文登君  
 斉 唱 「上田六文銭 RC の歌」  
 委 嘱 状



西澤 尚夫君  
 「米山奨学生カウンセラー」

委員会報告  
 ・ 会員増強委員長 山崎 芳雄君  
 入会者について  
 プログラム  
 ・ PETS 報告  
 会長エレクト 生川 秀樹君

に向けて有終の美を飾れるよう、我々は準備をして行くこととなります。既に企画委員会の皆さんを中心に準備は進められていますが、今日は講師の山極寿一先生はどんな方であるか、去年の日本経済新聞の記事からご紹介申し上げようと思います。

先生は山極勝三郎博士の遠縁に当たられるということは以前お話いたしました、昭和 27 年（1952 年）東京生まれでいらっしゃいます。東京の国立高校から京都大学に進まれ、理学部自然人類学研究室で研究者・学者への道を歩まれました。今やゴリラの研究では我が国の第一人者でいらっしゃいます。京都大学のトップ、総長をお勤めです。ふつう大学では学長ですが、旧帝大のトップは総長と呼ぶようですね。

先生が高校から大学に進まれる頃は、'70 年安保の学生運動が盛んな時でした。私はちょうど社会人になった頃で、何かの資格試験のために大学の卒業証明書が必要となって母校に行ったことがあります。キャンパスの校舎の多くがヘルメット姿の学生に占拠されていて驚いたことがあります。先生はそんな学生運動を高校・大学と身近に経験されたそうです。高校の同級生たち

会長挨拶

記念講演会講師山極寿一先生の紹介  
 西澤文登君



創立 20 周年の記念すべき年度の締めくくり、市民講演会がいよいよ現実のものとなりました。6 月 25 日

が、「社会とは?」「人間とは?」と議論している姿を見て、違和感を覚えました。マルクスやエンゲルスの受け売りをしているようで、「それは本当に自分の考えなのか?」と疑問に思ったそうです。

京都大学ではスキー部に入られたそうで、冬山でサルを観察していた時、大学紛争で目の色変えて飛び回る学生や、自己矛盾に陥る学生たちの姿が、目の前のサルの姿と二重写しになったそうです。サルより進化したはずの人間が、何故いつも苦悩し、言い争ったり暴力を振るったりするのか、人の人たる所以を霊長類との比較で研究することにしたということです。

研究室では、教官や先輩たちからオリジナリティーをいつも求められたそうです。人間の文化や社会の進化についてフロイトなどの言葉を借りて研究発表をすると、「フロイトの考えを聞いているのではない」などと厳しい言葉が飛んだそうです。そんな自分を見て、これではマルクスの受け売りをしているように見えた高校の同級生や、サルの姿と二重写しになった紛争に明け暮れる大学生たちと同じではないかと思われたそうです。自分の殻を破らなければいけないと、日本列島の北から南まで歩き、屋久島ではキャンプ生活を送って、野生のサルを追ったそうです。その後アフリカでゴリラの生態を研究することになりますが、ゴリラの中に入って彼らと同じ行動を取ろうと心掛けたそうです。人の言葉を借りるのではなく、自ら体験する探検心が一番大切だと言われます。

とても素晴らしいお話を山極先生にはしていただけたと思います。多くの市民の皆

さんによいお話を聞いていただけるように、上田文化会館をいっぱいにするように頑張ろうではありませんか!

幹事報告



松澤 一志君

1. 米山奨学会より
    - ・世話クラブ委嘱状
    - ・ハイライトよねやま 205号
  2. 地区事務所より
    - ・「地区研修・協議会」への出席礼状
    - ・コーディネーターニュース 4・5月号
  3. 上田東急 REI ホテルより
    - ・消防設備点検と消火訓練について
- 恵送
1. 上田西 RC 様・桐生赤城 RC 様・・・会報
  2. タツノ様・・・マガジン4月号
  3. 生駒時計店・・・カタログ
- 全会員配布物
1. 当クラブ会報 第 933 号・934 号
- その他
1. 本日例会後、理事会です。
  2. 次週例会は美穂ヶ池清掃です。
  3. G・W 事務局は 4/28(金)～5/7(日)までお休みをいただきます。

出席・ニコニコBOX報告



田中 栄一君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	20	4	-	80.00%
前々回	21	6	2	80.95%

- 西澤文登君 春がやってきました。桜は散り始めましたが我が家の庭もサンショウ、ツツジ、水仙が綺麗です。
- 山崎芳雄君 桜も満開良い季節となりましたね！
- 宮澤広一君 桜が満開できれいですね！
- 水野泰雄君 植樹の桜～散っていましたが！その他は嵐の中頑張っています。生川さんよろしくお願ひします。
- 中澤信敏君 武石は今一番桜がきれいです。
- 松澤一志君 生川さん PETS 出席ご苦労様でした。
- 西澤尚夫君 いい陽気ですね。生川君次年度楽しんでください。
- 宮原宏一君 生川さんのお話楽しみです。
- 中沢利樹男君 生川さんよろしくお願ひいたします。
- 田中栄一君 生川様、一年間頑張ってください。
- 杉山 裕君 この暑いのにインフルエンザの B 型が出てきました。
- 北村久文君 本日は夏日です。

肥田野秀知君 柄澤 堯君  
生川 秀樹君

### 次期 R I 会長

イアン H.S.ラズリー氏 (オーストラリア)  
テーマ: ROTARY: MEKING A DIFFERENCE  
ロータリー: 変化をもたらす  
ロータリアンは社会に変化をもたらすために存在し、ロータリーを通じて変化する  
**戦略的優先事項**

- クラブの支援と強化  
(女性と若い会員の増加)
- 人道的奉仕の重点化と増加  
(持続可能性を重視)
- ロータリー公共イメージと認知度向上

### 1. 次期 2600 地区ガバナー

関邦則 (せき くにのり) 氏  
(長野 R C、一級建築士、66 歳)

地区方針: UPDATE MY CLUB

時代や社会の変化に合わせて自分自身や自分たちのクラブを変え、周囲を変えていくロータリーのパワーを更にアップさせていく

#### 行動計画

##### (1) R I 会長賞の達成

- ・クラブセントラルで 10 の目標を設定する
- ・戦略的計画を立案または更新する
- ・会員の純増達成を目指す  
(会員総数・女性・青年、地区目標は総数 10 名以上/グループ)
- ・例会以外の活動に参加する
- ・ポリオ基金を推進する
- ・環境に焦点をあてたプロジェクトを実施
- ・プロジェクトへのロータリーファミリーの参加
- ・R 財団年次寄付は 100 ドル/人以上  
(地区目標は 150 ドル/人以上)
- ・クラブのあらゆるコミュニケーションに様々なリソースを使う
- ・クラブの H P を更新する

## プログラム

### 会長エレクト研修セミナー

(PETS) 報告



会長エレクト 生川秀樹君

・ 企業や政府機関・非政府機関と提携して協力する

・ クラブのプロジェクトやイベントを地元メディアに報道してもらう

(2) ロータリー活動情報の理解の促進

例会における会長挨拶及び卓話において RI 及び地区のロータリー活動の話題を取り上げる

(3) IT 化の推進と情報発信

会員の MY ROTARY 登録及びクラブセントラルの入力を推進する

HP や SNS によって最新のロータリー活動情報を外部に伝達する

(4) クラブ戦略計画の立案と推進

クラブの健康チェック及び 5~10 年後の予想を行い、サバイバルとしての戦略計画を立案する

(5) 環境問題への対策

1 会員が少なくとも 1 本の植樹を行う

## 2. 分科会に別れてディスカッション

(1) 年間計画の立案

例会回数は週 1 回を維持するクラブが多いが、祝日のある週や月末の週は休むクラブも少なくない。夜間例会等の親睦行事を定期的に行っているクラブが多い。

(2) クラブを運営する

会員の減少は多くのクラブで共通の課題。長野県は 30 人以下のクラブの割合が日本で 8 番目に多い。年会費は 12 万円/半期が多いが、松本地区は 18 万円/半期。会員数の減少で、財政的には厳しいクラブが増えている。

(3) ロータリー財団について

一人当たりの寄付金額は 2016-2017 年度において当クラ

ブは 2600 地区でトップ。3 年後には多額の RI 地区補助金の受給資格あり。申請の締め切りが 3 月末であるので、複数年度にまたがったの準備が重要。クラブ負担額は総額の 3 割。事業は原則単年度限定であるが、工夫の余地はある。

(4) ソーシャルメディアの活用とプロジェクトの広報

HP は開設していても更新を積極的に行っているクラブは少ない。HP の閲覧ターゲットが不明確で開設自体もしていないクラブもあり。HP よりもコミュニティー新聞などの地元メディアを重視しているクラブが圧倒的に多い。

(5) ロータリーについて語ろう

## 3. 会長エレクト研修セミナー (PETS) 参加感想

ロータリーには豊富な研修プログラムやツールがあることを改めて認識した。また、自分自身の理解不足を痛感した。当クラブの現状を考えると、持続性の懸念が残っているので、RI が提唱する戦略計画の作成が不可欠だとも感じた。

